

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービス すくすく塾御幸		2025 年 2月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		安心安全に取り組める環境を提供している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		個別療育にて1対1で取り組み、活動内容によっては職員を増員し1対2での配置数で取り組んでいる。	職員の個性も尊重し職員募集でより充実した支援を心がけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		集中して取り組めるよう情報を少なく、イラストなどで視覚的に示し取り組んでいる。	区分けされた支援室での対応で、声のボリュームなど気になるお子さんのため、指導や部屋割りを徹底していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎朝の清掃だけでなく、支援後は必ず使用した物品・机上是消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		特性に合わせた活動内容・場を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		日頃のミーティングや会議で意見交換し改善に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		来所送迎時に意向を伺い改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		職員間での共有で改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	72%	28%	事業所内での評価だけでなく相談支援事業所・学校連携で参観いただき互いの情報共有お積極的に取り組んでいる。その際はアドバイスを互いに行っている。	引き続き外部からの評価を真摯に受け止めて支援に反映していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%	本社内部研修・外部研修で職員のスキルアップに努めている。	より職員研修により安心して頂けるよう努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		AIセラピスト導入により様々な視点から最善の支援を提供できるように努めている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		課題・特性に合わせたアプローチで職員に共有する。生育歴や取り巻く環境も分析し作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		個別支援計画を作成する際は、アセスメントで聞き合わせた困り感を情報共有し、作成会議にて様々な意見を出し合い、特性に合わせた支援内容を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援に取り組む前には必ず内容報告・確認と職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		園・家庭の様子などを伺い、状況把握に努めている。AI導入により視覚的に数値化している。保護者様にも理解していただけるよう丁寧な説明・内容で示している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		本人・家族に合わせた支援・必要な連携を示し、適切な支援を目指している。理解していただけるよう分かりやすく明確に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		支援前に職員間での共有により、様々な視点から取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		次に繋がる支援を行いミーティングで情報共有し取り組む内容を確認しておりスモールステップで工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		特性に合わせた個別・小集団の療育活動を取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日時間を決めてミーティングしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		より良い支援に繋げるため、職員間での情報共有を徹底している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		1対1の個別支援なので、検証・改善を徹底するため、曜日や回数に合わせ職員2人体制でサポートしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		必要に応じて作成している。（基本は6か月で作成）	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		担当指導員・主任・児童発達管理責任者で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		授業参観・定期的なモニタリングで整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		連携を図ることで安心して次に繋がるようサポートしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		連携を図ることで安心して利用して頂き、繋がる支援を提供している。書面だけでなく意見交換する場を設け、情報提供することで児の学校生活が楽しく通え過ごせるよう努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%		必要に応じて相談支援事業所・学校などに来所して頂き、意見交換で最善策を見出せるよう努めている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%	事業所内での活動で安心安全に取り組んでいる。外部に出向いて交流する機会を設けておらず、今後の課題とする。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		フィードバック時に時間を設けている。内容に応じて対応している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		必要に応じて対応している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時だけでなく、必要に応じてお伝えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		定期的なモニタリングを行い、ニーズに合わせたサポートを提供するため、フィードバックの際には丁寧に確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		確認して同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		担当職員のフィードバック時に伺っているが、必要に応じて面談を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%	父母会を行う企画はあるが実現しておらず、今後を踏まえ、異年齢児との保護者会で様々な情報共有できる場を設定していく。	父母会を行う企画はあるが実現しておらず、今後を踏まえ、異年齢児との保護者会で様々な情報共有できる場を設定し提供していけるよう努めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		安心安全に取り組めるようサポートしている。意見箱を玄関に設置し保護者様の声を頂くように対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		ホームページだけでなく、Instagramで活動内容を配信している。携帯電話でのメールも活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取り扱いには十分徹底しており、確認作業も支援後に行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		特性に合わせた関わりで配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	イベントも事業所内や社会見学を行っている。社会見学では公共交通機関を利用し体験型・新聞つくりに反映している。	今後は地域に密着したイベントも企画していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		特性に応じて紙芝居・クイズ・体験型・避難訓練など実施している。契約時にマニュアル説明を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		特性に応じて紙芝居・クイズ・体験型・避難訓練など実施している。契約時にマニュアル説明を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		体験時・契約時・必要に応じて確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		体験時・契約時・必要に応じて確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		環境整備を徹底し支援している。様々な研修・防災・防犯など想定して訓練しており職員全体の役割を明確にしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明し緊急連絡先１・２を管理しており対応できるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		状況内容・対応・改善策を記入し職員間で回覧している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		年２回、必要に応じた研修を受講している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		契約時に説明し保護者様にも同意を得ており、様々な想定での判断をお伝えしている。	